

第14回日本の次世代リーダー養成塾に参加して

◇卒塾生の感想文より

No.1	1年生女子
------	-------

1 リーダー養成塾を受講して

リーダー養成塾を受講してよかったと思うことは大きく2つある。

1つ目、「やりたいこと、人生のビジョンを見つめることができた」

自分に行きたい大学や、なりたい職業、進みたい進路も無く、それを後ろめたい気持ちでいた。実際、リーダー塾には将来の明確なビジョンが持てている人ばかりだった。だからこそ、キャリア教育で将来について考えた時は、自分以外のみんなが堂々と話す姿を見て、すごいなと思った。そこから自分も真剣に将来について考えることができ、たくさんの講義から、やりたいことがたくさん見つかった。

2つ目、「たくさんの仲間の出会い」

参加する前、そして参加してからの1週間は全然仲良くなれなくて、参加したことを少し後悔していた。でも終了するころには「帰りたくない」「もっとみんなといたい」という気持ちで溢れていた。具体的に何日目の、いつから仲良くなったということはないが、共にディスカッションしたり、真剣にぶつかりあって、時に泣いて笑ってかけがえのない仲間ができた。

参加することができて、心から良かったと思っている。

2 印象に残った講義とその理由

李鳳宇(り・ぼんう)先生「映画はいつかアナタを助ける」。

自分自身、映画が大好きでそっちの方にも進んでみたいなと思っていた。

でも、体力的にも経済的にも難しく諦めていた。今回の講義を受けて映画を本業とし、様々な場面で活躍されている先生が、とてもかっこいいなと思った。それを同時に映画への関わり方で、もっと他にも道があるのではないかと思った。実写化されるアニメや小説、それを支える出版社や雑誌、新聞などのメディア……。たくさんのアイデアが浮かぶきっかけとなった。

今回の講義で自分の将来のビジョンが明確になった。

3 今後のわたし

私のグループではアジア・ハイスクール・サミット(AHS)の題として「沖縄基地問題」について話し合った。「普天間」、「尖閣諸島」、「移設問題」、「騒音・墜落による被害」……。どれも全く知らなかった。スタートが0の状態、みんなについていくのが必死だった。それがすごく恥ずかしかった。

他にも、テロ、ミサイル、格差、いじめ、LGBTなど全て聞きなれない言葉ばかりだった。このことから自分がいかにメディア、ニュースに耳を傾けていないかが分かった。

アジアの子も自分の国代表として自分の国目線の意見を言えるのがかっこいいと思った。

この研修で学んだことは本当にたくさんある。けれどもまず、実践の第一歩として「日本についてよく知ること」「日本人として自分の意見が言えるようになること」から始めていきたいと思った。

◇卒業生の感想文より

No.2

2年生男子

1 リーダー養成塾を受講して

本当に楽しく、充実した2週間となった。このように日本中の高校生リーダーや、海外から来た高校生と交流する機会や、多くの人が知っているような著名なリーダーの講義を聴ける機会はそうあるものではないので、とてもいい体験ができた。

僕にとっていろいろなところから来たリーダーたちとの出会いは、とても刺激的だった。彼らがリーダーとして何を考え、どんな行動をしているのかはとても参考になった。そして、彼らとの交流を通して自分がよりよいリーダーとなるためには何が必要であるかも知ることが出来たし、自分を知ることで自分の目指すべきリーダー像もなんとなくわかってきた。

また、たくさんの著名な方々の講義を聞いて、リーダーに必要な心構えを知ることができたり、新しい方を発見したりすることができた。いろいろなことを学ぶことができたので、また講義ノートを見返してそれらを生かしていきたい。

2 印象に残った講義とその理由

1つ目は、現福岡県知事の小川洋先生だ。通産省時代にPL法や食品安全基本法を作った方だが、新しい法律を作るのは賛否用論あって大変だが日本のためには何が大切かを考えて法律を作ったという話や、「think globally, act locally」という言葉が印象に残った。それらはこれから心掛けていきたい。

2つ目は、薩摩焼の陶芸家の沈壽官先生だ。先生の「自分が日本人なのか、韓国人なのか」という話から、自分が何者なのか深く考えるいい機会となった。また、自分が何を伝えたいかを見つけ、それを自分の就いた職業で表現することが大切だという話が心に残った。

3つ目は、元法務教官の武藤杜夫先生だ。少年院で教えていたこともあるのか、話を聴くと背筋がピンと伸びたし、その話は心に訴えかけるものがあった。その中で、人は独りぼっちになってはいけないし、独りぼっちにはいけないという話があり、リーダーという立場にある以上はそれを強く意識しなければならないと感じた。

3 今後のわたし

今回、リーダー塾でいろいろな方の講義を聴いたり、たくさんの同世代のリーダーと交流することを通して感じたこと、考えたこと、知れたことはたくさんある。塾期間中にとったメモやテキストを見返して、それらを心に強くとどめ、行動していきたいと思っている。自分に足りないところは改善し、己のレベルアップに努めるとともに、全体に対して何ができるのかを考えて行動したい。

特に今回学んだのは、地に足をつけて深く考えることの大切さだ。実際、アジア・ハイスクール・サミットではそのようなことが要求されたし、これからも大事になってくるだろう。これから学校では文化祭があるし、それが終わっても生徒会執行部としての仕事が続くわけだが、それを意識して臨んでいきたい。

◇卒業生の感想文より

No.3

2年生男子

1 リーダー養成塾を受講して

多くの著名な方の講義を受け、全国から集まった高い志をもつ仲間たちと議論することはとても貴重な体験でした。先生方の講義によって、僕の生き方や考え方が大きく変わりました。また、普段自分の学校ではできないような熱い議論は本当に楽しかったです。そして、初めて2週間も親元を離れて他の高校生と共同生活を送ったのですが、あまり困るようなことはありませんでした。しかし、2週間ずっと自分のプライベートな時間がなかったので、精神的には疲れました。

今回の塾を通して、自分とは違う様々なリーダーをみることができ、自分の理想のリーダー像というのがはっきりしてきました。それは、みんなを引っ張っていくというより、個々の力を引き出すことのできるリーダーです。それも、大きな収穫のひとつとなりました。

2 印象に残った講義とその理由

・中村俊郎先生

将来「物作り」に関わる仕事を志している僕にとって、中村先生の「物作りは優しさから始まる」というお言葉はとても心に刺さりました。

物を作るとき、物を使う人のことを考えることが大事であり、それこそが優しさだと気づかされました。

・武藤杜夫先生

法務教官をされている先生で、まず講義そのものがとてもしびれるものでした。先生からは主に、僕たち人間の可能性についてご講義をいただきました。

そのなかでも、「人と比べても意味はない。過去の自分と比べて今の自分はどうか？」というお言葉がとても心に刺さりました。

思春期真っ盛りである僕にとって、自分の存在意義について悩むことが多くあります。そんな僕にとって、ひとつの光を示すようなお言葉でした。

3 今後のわたし

今回の塾に参加するまでに、僕は建築家か、宇宙ロケットの開発か、将来やりたいことに悩んでいました。

しかし、今回の塾ではっきりと自分の将来について決めることができました。塾に来ている多くの人が世界に目を向け、幅広い視野を持っているなかで、自分も刺激され、僕は世界だけでなく宇宙にも目を向けようと決断しました。

つまり、宇宙ロケットの開発に関わる仕事をしたいということです。

◇卒塾生の感想文より

No.4

1年生男子

1 リーダー養成塾を受講して

このリーダー塾へは母の勧めで行くことを決めました。この塾へ参加できたこと、そこで出会ったかけがえのない仲間たちのことなど、すべてがいい思い出です。このリーダー塾で僕はたくさんのことを学ぶことが出来ました。それは講義の中だけではなく、仲間たちとの日常の中でもありました。食事の時に率先して食器の片づけを手伝う姿、講義の時に素早く手を挙げる姿など、見習うところがたくさんあって僕も頑張ろうと思えました。

リーダー塾の中で特に印象に残っているのはアジア・ハイスクール・サミットです。この活動で僕たち七組は最優秀賞を取る事が出来ました。その過程の中で、僕は一回「自分がここにいていいのだろうか」と考えていて、最初はあまり話し合いに参加することが出来ませんでした。しかし、クラスの皆はそんな僕の事を仲間として受け入れてくれました。そのことがとても嬉しくて、クラスのために自分が出来ることを頑張ろうと思えるようになりました。アジア・ハイスクール・サミットで僕は「本当の仲間」を得ることが出来ました。本当に参加してよかったと思っています。今度は学生リーダー、講師の立場として戻ってきたいです。

2 印象に残った講義とその理由

一番印象深かった講義は武藤杜夫先生の「なぜ少年院で人生が変わるのか？」です。初めて先生にお会いした時には、まさか先生が不良だったという過去を持っていたとは思いませんでした。しかし、その経験を活かし、逆境を乗り越えた先生の話は僕にとってとても刺激的でした。特に、少年院の子供たちとの交流を映像で紹介して頂いた時、感動のあまり泣いてしまいました。僕たちは父母だけではなくその父母を生んだ両親がいて、さらにその両親を生んだ両親がいて、というように僕たちは長い命のリレーの中で生まれたかけがえのない存在であることを強く感じました。そして、そのかけがえのない命を粗末にすることだけは絶対にしてはいけないということを感じました。僕は、この講義を通して命の大切さ、生き続けることの大切さ、逆境の中でも諦めない心などたくさんの大切なことを学びました。また、武藤先生のような人になりたいと思いました。講義の中で、「人生を変える出会いは何だったか」という話がありましたが、僕にとって武藤先生との出会いが人生を変える出会いになりました。この講義を通して感じたこと、学んだことをもっと多くの人に伝えていこうと思います。

3 今後のわたし

このリーダー塾で僕は、仲間の大切さ、集団生活の中で守らなければならない礼儀を学びました。仲間がいてくれたおかげで僕は一步を踏み出し、このリーダー塾で成長することが出来ました。また、仲間がいてくれるだけでとても安心することが出来ました。仲間がいてくれるから、安心して行動することが出来ました。ミスをするのを恐れず、発言したり行動したりすることが出来ました。仲間の存在は本当に大きいものだと感じました。

また、集団生活の中では仲間にはしっかり礼節を持った行動をすることが大事だと学びました。仲間が大切な存在だからこそ、「親しき仲にも礼儀あり」というように礼節ある行動をすることが、さらにより良い関係を作ることが出来るということも学びました。

その他にも、僕はこのリーダー塾で学んだ事がたくさんあります。それを自分の生活に活かしていこうと思います。学校の仲間を大切にすること、自分から行動すること、思ったことをはっきりと相手に伝えることを意識して今後の生活をしていこうと思います。また、何事にも一生懸命取り組んでいきます。

最後に、僕は自分の人生において、自分の思いに嘘をつく生き方は絶対にしないこと、自分が一番大切だと思う気持ちを忘れずに生きることを大切にしていきたいと思います。このリーダー塾に参加させていただき、本当にありがとうございました。

◇卒塾生の感想文より

No.5

2年生男子

1 リーダー養成塾を受講して

日本の次世代リーダー養成塾を受講して最も良かったと感じたのは、全国から集まった日本のリーダーになろうという高い志を持った人たちに出会えたことです。彼らとともに毎日のように白熱した議論を交わしたことは、とても印象深く心に残っています。

次世代リーダー養成塾に参加した人たちは、これから自分が何をしたいかという明確なビジョンを持っている人が多く、自分の叶えたい夢に向かって既に努力を始めている人もいました。そんな仲間と話していると自分も大いに感化され、日程の後半では自分も早く夢に向かって一歩を進み出したいと思うようになりました。彼らと話すことによって自分の夢についてより深く考えることができ、その夢を実現したいという気持ちに満たされました。

特に、次世代リーダー養成塾のプログラムには、ディスカッションの機会が数多く設けられており、自分の考えや意見をより良いものにするための多様な見方や考え方を知ることができました。議論のテーマも普段、学校で話しているようなレベルを越えており、難しいテーマでも真剣に話し合うことによってこんなにも楽しくなるのかということに驚きました。

自分の殻を破り、大きく成長することができた夏になったと感じています。

2 印象に残った講義とその理由

どの講師の先生方のお話も素晴らしく為になることをたくさん教えていただきましたが、特に印象に残ったのは、笠谷和比古先生と武藤杜夫先生のお話です。

笠谷先生のお話は武士道についてでしたが、日本人に古くから受け継がれてきた素晴らしい文化について詳しく教えていただきました。中でも講義中に詳しく話して下さった「武士道七原則」は、現代の日本でもこの精神に則って行動をすることによって、多くの問題を解決できるのではないかと感じました。日本の持つ魅力を再発見することができました。

武藤杜夫先生のお話は、少年院での子供への「指導」ではなく「交流」についてでした。このお話を聞いて人に接する時に何が大切なのかを教えていただきました。なかでも「成功は手に入れることではない、気づくことだ。」という言葉には感銘を受けました。困難な状況であってもその状況を自分がどう捉えるかによって感じ方も変わり、幸せと感じられる可能性があることを学ぶことができました。これからの人生で忘れてはいけない大切なヒントを頂いたと思いました。

3 今後のわたし

私はこのリーダー養成塾に参加することで、将来の夢について明確に意識できるようになりました。仲間たちとのディスカッションを通じて、今の日本に何が必要なのか、将来何が必要とされるのかが少し分かったような気がします。そのテーマに自分自身が直接取り組むことができるよう、世界との関わりを持ち続ける仕事に就きたいと思っています。

このリーダー養成塾で学んだ多角的なものの考え方や、ディスカッションを通じて意見の異なる相手とどのように協調や連携を図るかといった方法を最大限活用することで、日本が進むべき方向を間違えないだけでなく、世界の人々が笑顔で過ごせる社会を創ることができるように力を尽くしていきたいと思っています。

◇卒塾生の感想文より

No.6

1年生男子

1 リーダー養成塾を受講して

この夏、2週間リーダー養成塾に参加して、たくさんの人を知り、たくさんを経験をさせていただきました。今までの自分の見ていた世界とは、まったく違う、とてもハイレベルな密度の濃い時間を過ごせました。

- 一流の講師の話聞き、学校では出来ないようなことをたくさんできました。
- 一生忘れられない最高の思い出となりました。

2 印象に残った講義とその理由

鎌田實さん「生きているって素晴らしい～命・平和・絆を考える～」の講義

世の中の一人として今、自分は何をすべきかなど、とても質の高い話を聞かせていただきました。医者として世界を飛び回り、人を助けている姿に感動しました。

自分も大人になったら、何らかの形で人を助けるような職につきたいです。

3 今後のわたし

リーダー塾で、日常生活では体験できないことをさせていただきました。しかし、それ以上に「当たり前」のことをしっかりやることを学びました。「あいさつ」、「掃除」、「食事」、「時間行動」など、普通の日常にも活かせるものがあります。

2週間で終わらせるのではなく、今後活かしていけると良いです。

◇卒塾生の感想文より

No.7

2年生女子

1 リーダー養成塾を受講して

リーダー塾を受講してみて、ひとまわりもふたまわりも成長できた、今までで1番充実した2週間を過ごすことができました。リーダー塾に行く前は、知らない人たちと知らない場所でスマートフォンもテレビもない2週間というのが本当に嫌だったし、2週間も家から離れるのは初めてで不安という気持ちしかありませんでした。たくさんの講義を聞いたりディスカッションをしたりなど普通の学校生活ではやらないことばかりで、最初の1週間は永遠にこの2週間が続くのではないかと思うほど1日を長く感じました。しかし、大丈夫だよと声をかけて支えてくれる友達ができて仲良くなっていくうちに楽しくなり、ずっとこの時間が続けばいいのになと思うようになりました。

2週間、家を離れてみて、もっと親や周りの人に感謝しなければいけないということに気がきました。このように、リーダー塾は自分を見つめ直す良い機会になりました。また、アジアをはじめ、たくさんの人と知り合うことができ、最高の友達、仲間をつくることができました。最初は参加したくないと思っていたリーダー塾が今となっては、参加できてよかったと心から思います。辛いことも楽しいこともいろいろあったけれど、この充実した最高の2週間は絶対に忘れることのない一生の宝物です。

2 印象に残った講義とその理由

私が1番印象に残った講義は武藤杜夫先生の「なぜ少年院で、人生が変わるのか？」という講義です。この講義を聞いて、とても心に響き、感動しました。人と比べてどうかではない、命は宝物、人間は大人も子供も1人になってはいけない、出会いを大切になど本当にたくさんのことを学び、たくさんのことを考えさせられたので武藤先生の講義が1番印象に残りました。この講義を聞いてすごく前向きな気持ちになれたし、自分なりに挑戦していこうと強く思えたので、是非、武藤先生を学校にお呼びして講義をしていただきたいです。

3 今後のわたし

リーダー塾に参加してみて、たくさん学ぶことができました。2週間の中で、多くの講義を聞き、多くの人とさまざまな経験をすることで、自分の良いところや悪いところを見つけることができました。だから、今後の生活で良いところはさらに伸ばし、悪いところは改善していけるようにしたいです。また、最高の仲間に出会えたことで、優しさや周りへの気配りなど大切なことに気がきました。これから先も辛いことや大変なことなどたくさんありますが、リーダー塾での2週間の思い出を思い出し、前向きに考えて、さらに成長していきたいと思っています。

そして、視野をもっと広げて、口だけではなく実際に行動に移してみんなを引っ張っていきたいと思います。また、周りを引っ張ってだけでなく、支えられるリーダーになれるように頑張っていきたいです。

◇卒塾生の感想文より

No.8

2年生女子

1 リーダー養成塾を受講して

今回、このリーダー養成塾に参加でき、本当に良かったと思います。

私が参加したのは、様々な講話を聞き、多角的に物事を考えられるようにすること、同世代の子たちから刺激を受け、私自身の勉強や部活などに取り組む姿勢を変えること、そして「リーダー」という人に関する自分の疑問を解決することが目的でした。

鹿児島の伝統工芸品をつくっていらっしゃる陶芸家の方から元マレーシア首相まで幅広い講師の方の話聞くことで、今まで触れることのできなかった職業の詳しい話やその人ならではの考え方、その方だからこそ関わることのできた人やその方だからこそできた経験をきき、2週間の塾で多くの経験をしたような気分でした。また、講話のあとにディスカッションの場があり、自分の立場からではなく、その講師の先生の立場になって考える場面もあり、色々な角度から考えることができたのではないかと思います。

担任の先生や学生リーダーの方々も全力で私たちのサポートをしてくださり、その姿にかっこいいと思い、目標になりました。

200人近くの志高い仲間の中にいることで、勉強への意識や部活で結果を残すことへのハングリー精神がでてきました。また、留学した子や英検1級をすでにとっている子など、私の中の常識がいい意味で崩れていくのを感じました。留学などに対する憧れは今までにもあったけど、それが現実的なものに見えてきたおかげで今は、グローバル化した現代社会で通用する人になるためには行かなければならないとさえ思っています。

リーダー養成塾を通して、今まで通りの夏休みを過ごしてはできない経験と仲間ができ、社会に対する捉え方も人ごとではなく自分のことのように考えることができるようになった気がします。この2週間で得たものは本当に多く、リーダー養成塾に行かせてくれた両親、先生、県庁職員の方、そして学生リーダー、担任の先生、リーダー養成塾の事務の方、全てのサポートしてくださった方々に感謝したいです。ありがとうございました。

2 印象に残った講義とその理由

一番感動した講話は、元法務教官の武藤杜夫さんのお話でした。法務教官とは、少年院の先生です。彼の話の中で「夢にも思わなかった人生を歩め」というセリフがありました。それには、「夢はなくてもいい。夢はあっても、その職業になったら終わってしまうから。」ということでした。私は夢がなく、少し焦っていたところだったので、それを聞いて安心しました。でも、「言った以上は実現する。そのために行動する。」という言葉もありました。単純なことのようですが、私はいつも、言ったことがすぐにできなくなるのでシンプルな言葉だからこそ心に響き、武藤先生の話をおきいていて、がんばろうと力をもらうことができました。この講話を聞き、多くの塾生が武藤先生を自分の学校にも呼びたいと言っていました。私もその1人です。武藤先生の話はどれだけ忙しくても、聞く価値があり、大人から子どもまでいろんな人に聞いてもらいたいと思う先生に出会うことができました。

3 今後のわたし

私はリーダー養成塾に行き、やってみたいことが増えました。留学することや難民のボランティアをすることです。

これは、友達からも講話をしてくださった先生からも影響を受けました。今後は、その目標を絶やすことなく、達成させたいです。

◇卒業生の感想文より

No.9

1年生男子

1 リーダー養成塾を受講して

志高い仲間と共に一流の講師の方々の講義やアジア・ハイスクール・サミットなどの活動を通してたくさんの成長を得ることが出来ました。様々な考え方に触れることで自分中の価値観や物事のとらえ方が大きく変わりました。自分は学生として何ができるのか、将来のために今何をすべきなのか、普段考えないことも考えられて自分の将来への考えも変わりました。普通の学校では学べないことがたくさん学べました。

講義の中ではリーダーとして必要な事や世界で活躍するうえで必要なことを知りました。アジア・ハイスクール・サミットでは争いについて考えました。争いはなくせるのか、この問いはとても奥が深く複雑なものでした。今の世界はどうか、人々は何を考えているのかなど考えることがいっぱいでした。たくさん意見が出る中で衝突や議論を繰り返して、一つの解決策を探すのは容易ではなく、司会はとても大変でした。しかし、まわりの仲間はみんな優しく、みんな助けあいながら高めあいながら取り組みました。この経験は学校では味わえず、これからの私の人生の糧になっていくと思います。

2週間は本当に短くて濃い毎日でした。ここで学んだことはこれからの私が歩いていくときの大きな自信であり、リーダーになるための指針になると思います。本当に最高の夏になりました。

2 印象に残った講義とその理由

中村先生の講義が印象的でした。義足を作っている先生は本当に優しい人でした。義足は少しでも合わなかったりすると使う人にとって大きな苦痛となってしまいます。義足を作るには技術だけでは無理だと先生はおっしゃりました。相手の事を思う気持ちがないといけない。この言葉はほかの事にも必要だと思います。

また、先生は竹細工の義足の開発を熱心にしたそうです。義足は高いので現地のもので作る、この考えは相手のこと考えていてこれからの未来も見ていると感じました。その考えを会社の人に理解してもらうために熱く思いをぶつける先生はカッコよくリーダーでした。相手の事を思う事は簡単そうで難しいです。でもそれはリーダーには必ず必要だと感じました。先生の義足、それを使う人を思う気持ちは暖かくて素晴らしいものでした。

先生を必要とする人々が世界中にいるのも納得できるぐらい良い人でした。

3 今後のわたし

私の夢のために活かしていきたいです。リーダー養成塾ではリーダーのあるべき姿がわかりました。そこでリーダーには長い間の積み重ねや、若いころにしか学べない経験が必要だと知りました。これからの学校生活ではまず自分を高める事を第一に生きていきたいです。

今だからこそ得られるものをしっかり手に入れたいと思います。また共に歩いていける仲間が大切です。学校の仲間以外でも今回のリーダー塾で出会った仲間、これから出会い志を共にしていける仲間など多くの仲間との関わりを大切にしたいです。一人ではたどり着けないところはきっとあるはずですが、仲間がいればきっと大丈夫だと思います。部活、生徒会、応援団などいろんなことに積極的に取り組むことも忘れないようにしたいです。

私の将来の夢は内閣総理大臣です。総理に必要なものは何か、国や世界を導くにはどうすべきか、争いは無くすのかなど課題は山積みです。でも、今回のリーダー塾でヒントを得た気がします。そして自分を奮い立たせる自信も手に入りました。この思いを絶やすことなくこれからの人生に望んでいきたいです。どんな時でも支えてくれる仲間と大きな志があることを忘れずに頑張りたいです。

◇卒塾生の感想文より

No.10

2年生男子

1 リーダー養成塾を受講して

初め、パンフレットや紹介動画を見た時、「何だこの如何にも真面目そうな雰囲気は？」と驚いて、正直怖気づいたことを覚えています。自分で行くと決めておきながら、あまり乗り気ではなかったのが行く前の実状でした。でも、いざ始まってみたらおそらくこの夏で一番楽しくかつ為になった出来事になりました。初対面の人と話をすることが苦手で、人との関わりを極力避けてきた僕としては、知識的にも心情的にも大きく成長できたと思います。

僕は今まで、時事問題や国会関係、歴史関係の話を学校の友達とは話せず、本当に自分がしたい話をできずにいました。しかし、このリーダー塾では僕と同等以上の知識や見解、発想をもっている人が何人もいて、惜しみなく自分の意見を発信することができ、さらに普段は絶対同学年の人から聞くことないであろう意見などを吸収することができました。この情報社会の中、インプットは誰でも容易にできるけれどアウトプットは逆に、する機会がなかなか得られないと思います。そんな中で、このような機会が得られて、僕もみんなも幸せだったんだろうと思います。また、英語（外国語）の必要性を改めて強く感じました。僕と違い、英語がペラペラ喋れる人などたくさんいてそれまで感じたことのなかった危機感を感じました。ただ、それは悪い危機感ではなく、成長するために必要な良い危機感だったと思います。

2 印象に残った講義とその理由

やはり最後に講演してくださったということもあり、マハティールさんの講義が一番印象に残りました。英語の講義を通訳者さんが訳していくという初めて見る衝撃もさることながら、僕はマハティールさんのその見解の深さと志の高さが心に残りました。「戦争反対！」「平和主義！」と叫び掲げる方々は五万といいますが、戦争を避けるというのを前提に、その手段を使わないために我々はどうするべきか、何ができるのかということを示唆され、自らその役を負おうとされている人を、僕はこの生きてきた17年間でマハティールさんしか知りません。

自分の意見を行動に移せるということは一見簡単そうで、その実難しいことのひとつだと思っています。それをやってのけ、90歳を越されたご高齢の中、さらにまたやってのけようとしている様を見て、僕はすごい勇気をいただきました。特に、現在の安保理に疑問を抱き、国連の体制を革新されようとしているというお話は、僕の意見とも近しく、大変共感せざるを得なかったです。戦後の体制が世界各国で崩れ去っていきこうとしている現代社会で、マハティールさんのような意思と胆力が必要となってくるなと感じました。

3 今後のわたし

近い未来としては、大学入学に活かしていこうと思います。1、で書いたように、英語の必要性を強く感じたのが火種となって、英語に対する意識がガラリと変わりこれまで以上に一文一文一語一語にこだわって勉強するようになりました。これが大学入試、延いては留学に役に立つと思います。

遠い未来としては、自らが大学教授となり日々移り変わっていく政治、歴史を学び、教え、それを本として出版しようという夢の為に活かしていこうと思っています。多くの講師の方々に後押しを頂いて、自分の意見を広く世に伝えられるというメリットからも、教授という職業に惹かれるようになったのです。それまで考えていた志望校をやめて、新しく志望校を考えたように、すでに経験が活かされているといっても過言ではないですが、この夢はそのようなレベルの話ではないと自分では思っているので、未来へ未来へと生かしておこうと思います。

最後にですが、僕はこの経験を学校に持ち帰った後クラスや学年のみんなに伝え、良い意味で巻き込んでいこうとは思っていません。みんなを信用していないわけでも見下しているわけでもなく、それが最善の策だと強く思っているからです。